

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年10月1日

【評価実施概要】

事業所番号	3770101768
法人名	医療法人社団青冥会
事業所名	認知症高齢者グループホーム若葉荘
所在地	香川県高松市三谷町1654番地5 (電話)087-888-7008

評価機関名	社会福祉法人香川県社会福祉協議会		
所在地	香川県高松市番町一丁目10番35号		
訪問調査日	平成20年8月29日	評価決定日	平成20年10月1日

【情報提供票より】(20年 7月 1日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	昭和・平成	14年4月19日
ユニット数	3ユニット	利用定員数計 27人
職員数	24人	常勤 13人, 非常勤 11人, 常勤換算 23.2人

(2)建物概要

建物構造	鉄骨造り 1階建ての1階部分
------	-------------------

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	34,650円	その他の経費(月額)	1,800円+実費
敷金	有()円	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,300円		

(4)利用者の概要 (7月1日現在)

利用者人数	27名	男性	8名	女性	19名
要介護1	2名	要介護2	9名		
要介護3	7名	要介護4	7名		
要介護5	2名	要支援2	0名		
年齢	平均 81.6歳	最低	57歳	最高	100歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	ミタニ藤田病院	松の内歯科医院
---------	---------	---------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

運営理念には、家庭的な雰囲気づくり・楽しい共同生活・一人ひとりに即した援助に加え3ユニット独自の理念を掲げ特徴を表現している。日常の暮らしの中で、管理者や職員は理念に沿い利用者への見守りや声かけで、一人ひとりの思いや希望を把握して実践する取り組みをしている。建物は平屋で、日中玄関の開閉にはチャイムが鳴り鍵をかけないケアを実践し来訪しやすい。また、地域住民から行事予定等を知らせてもらったり参加の誘いもあり、地域交流の環境が整いつつある。同系列には協力病院もあり、必要時に適切な医療が受けられるように連携しているため、利用者、家族、職員共に信頼をよせている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>3ユニット中、2ユニットの管理者が異動したために、改善課題について具体的な取り組みには、それぞれ温度差があった。今後の前向きな姿勢に期待したい。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価については、管理者が職員に聞き取りをして作成した。お互いに話し合う機会が持てなかったが、自分達のケアやサービスの姿勢と課題も抽出されるので、次回の自己評価については、作成過程の工夫に期待したい。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議も回を重ねてグループホームの状況や行事予定などの報告のほかに、各メンバーからの意見や助言を活かすよう協議して、地域の支援と理解を拡げる努力をしている。運営推進会議が市との連携を強化し、共にサービスの質向上のために、今後のさらなる取り組みに期待したい。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>担当者が手紙で健康状態や暮らしぶりの近況を報告している。また、緊急時は電話で連絡して、家族の心配や不安に対応している。家族の面会時には、意見や不満、苦情などについて聴き、家族の視点からの情報を管理者や職員は話し合い共有して運営に反映できるように取り組んでいる。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>散歩などで出会う方は少ないが、挨拶をかわしたりサッカー場での子供達や通院での地域の人々のふれあいは、利用者の楽しい一時である。また、地域の行事なども知る機会ができ、利用者の体調や状況が許す範囲で老人会の行事参加の実現に向けて検討している。</p>

2. 評価結果(詳細)

( 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		○地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所の理念と3ユニット各々の理念を掲げているが、地域密着型サービスの理念の見直しができていない。	○	地域の中でその人らしく暮らすために、今までの理念に加えて地域との関係を示した理念の具体化が望まれる。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は理念を共有し、朝の申し送り時に唱和している。また、家庭的雰囲気の中で、利用者の思いや希望を実践できるように日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事予定などを運営推進会議で参加者から知る機会ができた。行事参加は利用者の介護度や状況で地域交流を深めるまでには至っていない。	○	踊りや太鼓などの慰問をお願いしたりボランティアの余興を受け入れている。老人会のミニゴルフなど行事参加を検討しているので実現を期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者も職員も自己評価および外部評価の意義を理解しているが、管理者の異動もあり評価を活かした改善への具体的な取り組みまでには至っていない。	○	3ユニットそれぞれ評価の取り組みに温度差があり、自己評価は管理者が職員に聞き取りをして作成した。評価の意義や理解について再認識して改善に向けた取り組みに期待したい。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議も回を重ねて、グループホームの状況や行事予定などの報告のほかに、課題を協議して地域の支援と理解を広げる努力をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議以外の市との連携が、ほとんど行われていない現状である。</p>	○	<p>事業所の方から実情やサービスの取り組みなどを、運営推進会議以外にも市の担当者へ伝えるなど、連絡の機会を持ち相談できる関係づくりが期待される。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>担当者が2か月に一度、手紙で健康状態や近況報告をしている。また、緊急等は電話で連絡し個々の状況に合わせた報告をしている。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の面会を利用して、家族の視点からの意見や不満、苦情などについて聴いている。管理者や職員は情報を共有し運営に反映できるように取り組んでいる。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>今回は2ユニットの管理者の異動があり、利用者や職員への影響が大きかった。</p>	○	<p>同系列の人数の関係で、運営上必要な異動と思われるが、職員配置は利用者や職員の影響を配慮した最小限の異動に抑えるよう取り組んでほしい。</p>
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>同系列の施設内で月一回研修会があり、代表者が参加してスタッフに報告しているが、職員への外部研修の情報や研修参加の機会が少ない。</p>	○	<p>年間の教育計画を立て、職員に応じた段階的な研修や臨機応変に対応できるトレーニングなど、質向上のための職員育成の取り組みに期待したい。</p>
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者との個人的つながりを持っている職員もいるが、交流を通じたサービスの質を向上させていく取り組みまでには至っていない。</p>	○	<p>外部の研修に参加して、同業者との交流の機会を増やしネットワークづくりをして、情報交換や勉強会などでサービスの質向上に役立つ取り組みが期待される。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者が安心して納得する時間を持たずに、家族の緊急度で早急にサービスを開始するケースが多いが、利用者が雰囲気に馴染めるように、職員は家族と相談しながらそれぞれの状況に応じた工夫をしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者ができることは一緒に行い、会話の中から教わることも多い。お互いに支えあう関係を築いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中で、表情や行動を見守り会話をしながら、一人ひとりの意向や希望を把握するように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画の作成にあたっては、利用者や家族などと話し合い意見を取り入れるようにしているが、計画に反映するまでには至っていない。	○	介護計画が、利用者の生活に密着した具体的な計画になり実践できるような取り組みに期待したい。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な見直しやその時の状態に応じた介護計画を作成するように努力をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の状態に応じた外出や通院など、要望にそえるよう柔軟な支援をしているが、利用者や職員の外来待ち時間は、日常生活のペースや日課、勤務に影響が出ている。	○	通院者の外来待ち時間が長く同系列の協力病院の利点が留意されていない。協力病院と時間調整など話し合い、利用者の負担軽減と職員の勤務時間を有効にするために、多機能を活かした支援を検討してほしい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院との連携で、必要時に適切な医療が受けられるように支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	できる限り利用者や家族の希望にそえるように、話し合いを持ち方針を共有している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーに関する言葉や声かけ、会話には注意し、一人ひとりの誇りを傷つけないように対応している。記録物などの個人情報の取り扱いや保管には留意している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の日課や業務の制約はあるが、利用者のペースを大切に、その人らしい暮らしができるような支援を心がけている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は利用者の力を活かした役割分担をしている。それぞれのペースで、ゆったりと味わいながら食事をしたり会話をしながら楽しむ時間になっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は日中に行っている。週に2回と少ないが、作業をした後はシャワーで対応している。入浴を楽しむというよりは介護に応じた安全な入浴方法を実施している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日々の生活の中で利用者のできることを念頭に、畑の草取りや水やり、洗濯たたみ、カラオケなど楽しみごとや気晴らしの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	通院や利用者の希望、体調、職員の配置数等を考慮しながら散歩や買物、外食などの外出支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や日中玄関には鍵をかけていない。玄関は開閉時にチャイムが鳴り職員は利用者に声かけや見守りをして、鍵をかけないケアに取り組んでいる。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回火災訓練をしているが、災害時等は地域の系列施設の協力体制がある。訓練時には地域の参加を働きかけている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量や水分量をチェックして記録し、職員は把握して少ない場合は、摂取しやすいように形状を工夫したり好きな飲み物などを用意している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間は、利用者の作品を展示したり花を飾り季節感を採り入れている。不快な音や光、室温や換気などの環境にも配慮して居心地よく過ごせるようにしている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は利用者の好みに合わせている。使い慣れた家具や置物を持ち込み、思い出の写真や自分で描いた絵画や折り紙の作品などを飾り、安心して過ごせるように工夫をしている。		